

## JINS ART PROJECT 始動

「JINS 吉祥寺ダイヤ街店」がアート・スポットへ。お客様へ新しいアイウェアショップ体験を提供。

株式会社ジェイアイエヌ（東京本社：東京都渋谷区 代表取締役社長：田中 仁）は、このたび、アイウェアショップ「JINS（ジンズ）」店舗の壁を現代アートの分野で活躍するアーティストに提供し、自由な発想で新しい作品を制作してもらうアート・プロジェクト『JINS ART PROJECT（ジンズ・アート・プロジェクト）』を始動させました\*1。

プロジェクトの第一弾に抜擢されたのは、新進気鋭のアーティスト・泉太郎（いずみ たろう）氏。泉氏は、今回スペースを提供することになった旗艦店「吉祥寺ダイヤ街店」を実際に訪問し、店内に陳列された 1500 種類を超えるメガネや、日本で初めて導入されたレンズの自動加工システムなどを見学。JINS ならではのコンセプトやアイデアが詰め込まれた店舗空間に、「視覚とメガネの関係を表現する」という新しい着眼点で、斬新で大胆な 2 作品を生み出しました。

なお、今回泉氏の手によって制作された 2 作品は「吉祥寺ダイヤ街店」2F の壁面に展示しており、ご来店いただいたお客さまはどなたでもご覧になれます。

JINS は、『JINS ART PROJECT』によるアーティスト支援とともに、その作品を通じてご来店されるお客様のインスピレーションを刺激し、JINS のメガネに対する新しい発見や親近感を醸成する個性的な店舗づくりを目指してまいります。

### JINS ART PROJECT × TARO IZUMI



左：吉祥寺ダイヤ街店 展示風景

右：

泉太郎

「北極」（2013 年）

クレヨン、紙 各 31.2×43.5 cm

（イメージサイズ・30 点組）

### メガネのレンズを通して、また、メガネを外して少しぼやけた状態で

本作品を手掛けた泉太郎氏は、主に映像作品やビデオ・インスタレーションを、国内外の美術館やギャラリーなどで数多く発表しています。2 カ所の壁にかけられた「ウインクライオン」と「北極」は、いつものビデオカメラではなくメガネのレンズを通して、また、メガネを外して少しぼやけた状態で、私たちの世界を描くことに挑戦した作品群です。

#### 【作品について】



思えば 20 年以上前から、僕はメガネを身につけています。朝、枕元のあたりから無事にメガネを見つけ、ボヤけた輪郭を矯正できて初めて、体が完成し動き出す毎日です。それはまるで、体の器官の一つのように、僕に馴染んでいます。

今回の作品はまずメガネを通して作品を描き、その後はずっとメガネを外した状態で絵との距離を置き、見えたままを写し取る行為を繰り返して描きました。普段作品を作る時は必ずかけているメガネを外すことで、慣れ親しんだ体の一部をどこかに置き去りにしたまま制作することになります。

美術の歴史は、様々な文明の発展が影響を及ぼしていると思います。例えば、機関車の登場で視覚がスピードを持ち、世界の見え方を変えたといえます。

体に最も近い器具の一つであるメガネの登場は、ものごとの捉え方、運動などに必ず、影響を与えてきたと考えています。今回はこのように、自分の体を使って実験を行い、それを作品にしました。

2013 年 12 月 泉太郎

【作品介绍（泉太郎氏による解説とともに）】

■ウインクライオン（2013年）

クレヨン、紙、木製パネル 83.5×153.7 cm



「ウインク」とはご存知の通り、キュートな、またはゾクッとするような片目を使ったサインです。基本的に好意を示すポジティブなものですが、視覚的には距離感覚を失うマイナスの状況だとも言えます。つまり、ポジティブな表現がマイナスの動作により成されているわけです。「ウインクライオン」は、まずメガネをかけてドローイングを描き、次にメガネを外した状態でその一部を模写、それを、模写した部分に上から貼り付けていきます。ウインクと同じように、メガネを外すという、視覚に制限を加えるマイナスの行動を利用して作られた作品です。

—泉太郎

■北極（2013年）

クレヨン、紙 各 31.2×43.5 cm（イメージサイズ・30点組）



北極には行ったことがありませんが、撮影された写真などを見ると、一面真っ白な雪と氷に覆われていますね。たまにポツンポツンと黒い点や影などが見えます。メガネを外して模写を繰り返すと、段々と白っぽい色が周りを支配していきました。また、モチーフが虎の顔などの具体物だという認識から、解放される瞬間があるのです。色の塊になるわけです。そして、より見えやすい色に浸食されて変化していく図像を表現しています。

—泉太郎

企画協力：NPO法人アーツイニシアティヴトウキョウ[AIT/エイト]<sup>※2</sup>

【泉太郎(いずみ たろう)略歴】

1976年奈良県生まれ。2002年多摩美術大学大学院美術研究科修士課程修了。東京国立近代美術館や国立国際美術館、森美術館など国内の美術館等で展覧会を行うほか、ヨコハマトリエンナーレ等の国際展覧会にも参加。ヨーロッパやアジアをはじめ、海外における展覧会でも数多くの作品を発表。

■作家ウェブサイト：<http://tarozumi.com/>

※1 株式会社ジェアイエヌ 代表取締役社長 田中仁が、マネックス証券株式会社主催の現代アートの公募プログラム「ART IN THE OFFICE 2013」の審査に参加。そのコンセプトに共感し、JINS独自のプログラムとして、『JINS ART PROJECT』を立ち上げました。これからも、アーティストと共同で新しいアート・プロジェクトを創出していく予定です。

※2 NPO 法人アーツイニシアティヴトウキョウ[AIT/ エイト]

現代アートと視覚文化を考えるための場作りを目的として、2001年に設立したNPO法人。現代アートの教育プログラムMADをはじめ、個人や様々な企業、財団あるいは行政と連携しながら、現代アートの複雑さや多様さ、驚きや楽しみを伝え、それらの背景にある文化について話し合う場を、さまざまなプログラムを通して創り出しています。

■お問い合わせ先：03-5489-7277

■当りリリースに関するお問合せ先■

(株)ジェアイエヌ PR担当 木村、池川

TEL : 03-3479-4848、FAX : 03-3479-4849、pr@jin-co.co